

1.改善したほうがよいと思った科目名と理由

所属	科目名	理由	回答作成の依頼先
法学研究科	行政法 ⇨ <u>前任者の担当後の状況が続いていて、学内外の教員から担当者を模索するが、確約はできない可能性もある。</u>	選択科目になるように改善した方が良かったと思った	法学研究科

3.指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先
法学研究科	税理士科目免除が可能な大学院が沖縄県内で今後も続く指導体制や環境を維持できるように要望します⇨ <u>可能な限り、継続していきたい。</u>	法学研究科
法学研究科	修論作成は2年間しか時間がないため、初期の時点で、テーマ決めのポイント、進め方についてイメージや計画しやすいように、全体的な流れ（この時期にこの作業をやる等）や、ポイント（指導教授に定期的に面談指導を頂く、早めに文献資料を集めて読み込む等）のアドバイスがあった方が良かったと思います。⇨ <u>指導教員（税法）としては、アンケートにあった修論作成の全体的な流れやポイントについての指導を適宜してきたつもりではありましたが、こうした要望があったということはそれが十分なものではなかったということです、改善したいと考えています。</u> <u>なお、上記の要望をアンケート外でも直接伺っていたことを受けての1つの対応として、今年度の2年生については初めて、全員に対し1年次の春季休暇中に少なくとも1回以上修論作成に関して指導教員とオンライン等で面談することを求めたところ、全員これを達成し、それを契機として4月以降も定期的に面談を通じた指導の機会を全員との間で作ることができています。その結果、ポイントとして示された「指導教授との定期的な面談指導、早めの文献資料の収集・読み込み」については、現時点では昨年度までと比べて改善されているのではないかと考えられます。この方法が有効であれば、次年度以降も継続して行うことを考えています。</u>	法学研究科

6.その他、ご意見やご要望（時間数、科目の種類など）

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先
法学研究科	夏期集中講義で単位を取得できたことは、非常に良い環境だと実感していますので、今後も同じような環境下で続けていただきたい。⇨ <u>可能な限り、継続していきたい。</u>	法学研究科